



Chartered April 11, 1998

# THE Y'S MEN'S CLUB OF ASHIYA

Address : Seiji Igarashi 〒659-0014 6-16-402 Midorigaoka Ashiya .JAPAN  
 Mail : [PX100151@nifty.com](mailto:PX100151@nifty.com) Tel 0797-22-7852  
 URL : [http://www.kobeymca.org/kobe\\_ymca/ys/ashiya.html](http://www.kobeymca.org/kobe_ymca/ys/ashiya.html)

## 主 題

国際協会会長 ウィチャン・ブーンマパジョン(タイ)  
 「信念あるミッション(使命・目標)」 "Mission with Faith"  
 アジア地域会長 エドワード K.W. オング(シンガポール)  
 「愛をもって奉仕しよう」 "Through Love, Serve"  
 西日本区理事 遠藤通寛(大阪泉北)  
 「あなたならできる！きっとできる」  
 "You can do it ! Yes, you can"  
 六甲部部长 進藤啓介(神戸クラブ)  
 「-YMCAと共に- 次世代を育み、地域に仕える」  
 芦屋クラブ会長 五十嵐政二  
 「絆を太く、強く」

会 長 五十嵐政二  
 直前会長 福原吉孝  
 副 会 長 上野恭男・堤 清  
 書 記 柏原佳子・上野恭男  
 会 計 羽太英樹  
 監 事 田舎庸男  
 連絡主事 藤田良祐  
 六甲部交流担当主査 福原吉孝

3

Mar. 2016  
 226号

## JWF強調月間

柏原佳子  
 JWFとは、Japan West Fund の略です。今期のステートメントには「JWFは、みなさまのご厚意によって支えられています。個人やクラブの記念にあわせてお願いいたします」と記されています。  
 私たち芦屋クラブも10周年記念祝会にJWFに献金をいたしました。個人的にも献金の機会がありました。1975年には熱海で国際大会が開催され、大会は大成功で、収支は大幅な黒字でした。それを記念して、Japan Fund が誕生したのです。ところが1997年に日本区は東と西に分かれました。その時に Japan West Fund と Japan East Fund に分割されました。  
 以来、このファンドは西日本区では使われることなく、ワイズメンズクラブの最後の基金として守られています。有事に備えてのファンドは心強いですが、使われることのないことを祈りつつ、日々のワイズダムに励みたいと思います。  
 クラブや個人の感謝の心で集められた献金が、心の支えになっていることは理にかなない素晴らしいと思います。しかし、ほとんど情報が少なく、あるいは私たちが知ろうとしないのか、漠然と目に見えないものに対しては、クエスチョンが生れてきていることにも目をつぶってはいけないと思います。  
 次々期は六甲部から西日本区理事を送りだします。私たちがワイズ活動を身近に感じられる機会です。ワイズの精神を正しく理解し、なおかつ、もっと深く知る義務があり、そこから権利も生まれるのではないのでしょうか。

## 今月の聖句

十字架の言葉は、滅んでいく者にとっては愚かなものですが、わたしたち救われる者には神の力です。  
 <コリントの信徒への手紙 I 1:18>

## 3月第1例会プログラム

と き: 2016年3月16日(水) 19:00~21:00  
 ところ: ホテル竹園芦屋 (敬称略)  
 司会: 福原吉孝ワイズ

1. 開会点鐘 五十嵐政二会長
2. クラブソング斉唱 一同
3. 聖書朗読 羽太英樹ワイズ
4. ゲスト・ビジター紹介 福原吉孝ワイズ
5. 食前感謝 権 甲植ワイズ
6. 会食・懇談
7. ゲストスピーチ 中進一郎氏/赤賀幸一氏  
 「カントリーミュージック」演奏とお話し
8. 1) 第2例会議事録の承認 五十嵐政二会長  
 2) 各事業委員の報告 各事業委員
9. YMCA報告 藤田良祐連絡主査
10. 誕生日お祝い  
 大澤二郎ワイズ、柏原佳子ワイズ
11. 閉会点鐘 五十嵐政二会長

## 2例会出席表

第1例会出席者	例会出席率	BF切手
メンバー 11名	出席者 11名	累計 550 gm
ビジター 名	メイクアップ 4名	
ゲスト 名	合計 15名	
メネット 3名	在籍者 17名	ニコニコ
コメント 名	(内広義会員1名)	1月 14,650円
合計 14名	出席率 93.8%	累計 112,556円

## 2月第1例会報告

日時：2016年2月17日(水)19:00~21:00

場所：ホテル竹園 (敬称略)

出席者：五十嵐会長、上野恭男、柏原佳子、桑野友子、  
権甲植、島田恒、都筑省三、羽太英樹、福原  
吉孝、坂東幸子、(各メン)、五十嵐かほる、島田保  
子、羽太光子(各メネット)、藤田良祐連絡主事

2月第1例会は、TOF(タイム・オブ・ファスト)断食のときとして世界の各クラブで様々な例会模様があるようです。五十嵐会長のおおらかな開会点鐘がとなりのお部屋に負けじと(騒音が大きかった)響きます。羽太ワイズの聖書朗読と説き明かしはいつもながら例会に品格を加えてくださり、五十嵐かほるメネットの食前感謝の祈りに感動が胸を熱くします。

芦屋クラブは10年前からサンドイッチとコーヒーがTOF例会の食事となり、次期役員を選出する事務例会が恒例になっています。事務例会は時として第2例会を拡大した雰囲気になりがちですが、今年は春風みつこト、羽太光子メネットの「腹話術」が優しいムードを醸し出し、エコちゃんの可愛らしさに笑いが溢れました。

そのムードの中、五十嵐会長から次期会長上野ワイズにバトンタッチ、マイクが手渡されます。さすがに西日本区書記、六甲部部長を経験されているだけに次期はもちろん次々期を踏まえての人選があり、誰もが異議を唱えるどころか前向きに受け止め素晴らしい準備が整いました。

中に1人、「誰1人脱会しないお約束と、皆さまの協力がなくては出来ない」との条件付きで、拍手に支えられ20周年の会長を引き受けた人がいたことを記録しておきましょう。

ここで突然の爆弾発言です。我らが愛する藤田連絡主事より「3月に異動があり連絡主事が変わりますとのこと。一瞬戸惑いが走りましたが、やはり組織の人間として避けて通れない道もあり、直ぐに彼の説明に耳を傾けました。ついこの間の「留学生交流会」においても、間もなく開催される「さくら祭り」もこの何年かは彼の存在が大きな力になっていました。昨年のチャリティ・ランも初めて欠席しましたが藤田連絡主事がおられるから大丈夫と安心したことも思い出されます。五十嵐会長が「ご苦労様会をしないとね」と優しい目でおしゃり救われました。↗

DBCクラブもりおかクラブからの洒落たバレンタインチョコが甘くほろ苦く、口の中でとろけていきました。

五十嵐会長にマイクが戻され第2例会議事録の承認がされ、ファンド委員として福原ワイズからBF切手が多く集められたことが報告されました。

また、芦屋クラブの有志が、権甲植ワイズと共に6月に「韓国旅行」をすることが決まったと報告されました。今回はご病気で急遽欠席を余儀なくされた篠坂ワイズに替わり書記柏原佳子が司会を務めさせていただきました。

柏原佳子

## 腹話術を見せていただいて

春風みつこさん(羽太光子メネット)の5歳のやんちゃ息子と



のお魚の由来についてやりとりが始まりました。マグロはいけすにいるのを上から見たとき、真っ黒に見えるから、とか、コチは、あっちこっちから集まってくるから、とか、他、ホウボウ、ウナギ、エビ、イワシ、クジラ、など、次か

ら次に間をおかずに、エコちゃんが聞くのに対して、お母さんが答えてあげる様子は本当の母と子の会話のようで、口元を一生懸命見て、探っていたのですが、私にとっては、不思議としか言いようのない、ひとときでした。

昔、川上のぼるとい腹話術師が、テレビによく出ていた頃にも、必死で見ていたのを思い出しておりました。こんな特技を、ご自分のものにされている事に感激し、尊敬の気持ちで一杯になりました。

暖かな雰囲気の中、藤田良祐主事の移動の報告があり、芦屋ワイズにすっかり溶け込んでくださっている主事の移動を、悲しく聞くことになりました。藤田主事の益々のご活躍を祈願して、又お会い出来ることを楽しみにいたします。

坂東幸子

## ペットシェルター

畠中由圭

大人になったある日から、豊能にある Ark というペットシェルターに寄付を続けていました。年末の整理で出てきた余分なものをネットオークションで売り少し足して振込んだり、ホームページを見て、必要な物資が自宅にあれば宅急便で送ります。

この事のきっかけは30数年前に遡ります。冬の朝、母と幼稚園に向かう私は一匹の黒い子犬を見つけました。当時は「犬取りのおじさん」が活躍する時代でしたので、母に、おじさんに見つからないよう頼んで登園しました。

その日、母が黒い子犬と幼稚園に迎えに来てくれた時はずっと一緒に居られると、とても喜びました。子犬はとても利発で、次の日の朝は幼稚園までの道順をすっかり覚えていました。しかし、先住犬が子犬を許さず、結局手放すことになりました。

そんな折、当時は夙川で英語教師をしながら里親探しをされていたエリザベス・オリバー氏を新聞紙面で知り、母が連絡を取ってくれました。

夜、黒い毛糸の帽子をかぶって白い息を吐くオリバーさんが、迎えにきた子犬を抱いた時は、感謝よりも、二度と会えないととても悲しく泣きました。しかし、後日のお電話で、外国人夫妻の家に引き取られたこと、その日のうちに家族に馴染んだことなどをお知らせ頂き、泣くことをやめました。今も犬や猫達が Ark で暮らしながら、新たな飼い主を待っています。皆さまも新しい家族を迎える時は、Ark の犬や猫達を選択肢の中に入れてみて下さいね。

## YYフォーラム「ブランドの再生」

六甲部各クラブのワイズとユースに関わる神戸YMCAに連なる人たちの恒例のYYフォーラムは毎年1月であったが、今年は2月6日に神戸栄光教会を会場に開催された。来年は新築の加納町の会館での開催を楽しみに願いつつ参加した。今年のテーマは～神戸YMCAの宝さがし～である。



どんな宝が埋もれているのか？ 宝さがしは礼拝から始まった。喜音伝道所の家山華子伝道師のメッセージは「あなたがたは世の光」・・・わたしたちは小さな光、どんなに小さくてもどこへ行っても光れ！ 後ろからイエスの光りに後押しされて光れ！ 光れ！ 宝さがしのヒントはイエスの光りにあることを教えられた。そして参加者全員で♪わたしのちいさなひかり♪を手話付きで賛美した。

羽太英樹

### YYフォーラム「YMCAのブランディングとは」

はじめに、神戸YMCAスタッフ阪本孝司氏が講師としてブランディングを考える前に「神戸YMCAのブランドとはなにか」

を問いかけられました。いわゆる私たちに馴染みのある「ブランド」、エルメス、ヴィトン等のショッピングバッグが映し出され、つい引き付けられました。そこから現在のYMCAの全国のロゴが様々あること、知名度にも影響がでてくることに進みます。新しく生まれかわろうとする新鮮な取り組みが浮かび上がってきます。



講演のあとの「ワークショップ：YMCAの宝さがし」はワイズ・ユースリーダー・職員を代表して4名のパネラーが「なぜ、いまYMCAと関わっているか」をテーマにそれぞれのYMCAストーリーを話されました。その後4～5名のグループに分かれ3つのことを討議しました。

- ①活動の中で感じるYMCAの宝ってなんですか
- ②YMCAの宝を未来に繋げるためにはどうしたらいいか
- ③10年後のYMCAはどのようになっているか



私たちのグループは牧師、幼稚園の先生。福原ワイズ、鶴丹谷ワイズ、柏原の5名でしたが、チャリティゴルフで覚えてくださったこともあり最初から和気あいあい、結構本音の意見も飛び出しました。アピールの方法、フェイスブックやTVでのコマーシャルなど目から解りやすいアピールが必要、YMCAの宝は前期のパネラーが持つスピーチの訓練、リーダ

ーシップを持つ人材が育つ場所など、思ったことをメモに書きだし、貼り付けていくこの手法はYMCAのYYフォーラムの特徴ですが、たちまち用紙一面を埋めました。目があった藤田千佳さんに「どうぞこのメモをこれきりにしないで目を通してくださいね」と皆さまの想いを代表してお願いいたしました。

床次隆志牧師から閉会のメッセージを戴きましたが、なんと隣席の牧師だったことに驚きました。福原ワイズと見覚えのないお顔なので芦屋クラブへお誘いする気持ちと一緒に苦笑したものです♪(詳しい資料がYMCAYYフォーラム実施報告で掲載されています)。後日、次期芦屋クラブ連絡主事が司会をされた柳原健介氏だということを知り驚いています。

YMCAの宝さがしを終え、栄光教会のお隣の兵庫県民会館へ移動しました。70名ほどがテーブルを囲んで、ワイズだけでなく、YMCA職員も参加し、これこそワイワイと交わりの時を持ちました。六甲部執行部のみなさまのお心遣いに感謝です。



芦屋からは五十嵐会長、上野、柏原、桑野、福原、羽太各ワイズが参加しました。

柏原佳子

EMCはCME。魅力ある例会に仲間を招きましょう。



西日本区 EMC事業主任  
小野 勅紘(西宮クラブ)

C(意識高揚)はまず出席率に表れます。ノーベル平和賞を受賞されたマザー・テレサが「死を待つ人の家」に瀕死の老婆を引きとった時のことです。マザーは、脱脂綿で瀕死の老婆の口を潤しながら、「あなたは、愛されるために生まれてきたのですよ」と励ました。老婆は微笑を浮かべて「ありがとう」と言って旅立ったそうです。

世の中には必要とされない命は一つもありません。どんな命も神様に必要とされて生まれてきたのです。ワイズのメンバーも皆あなたが例会に出席するのを待っています。しかし、私たちの生活は忙し過ぎます。例えばあなたが一人娘の入学式と、大切な仕事重なったらどちらを選びますか？ 通常、父親は仕事を選び、入学式を母親に頼むでしょう。これが即ち「メイクアップ」です。父親は卒業式には万難を排して出席してくれるでしょう。このように「ワイズの優先順位(Priority)」を高めて戴きたい。

EMCはCME。まずは「C」で魅力的な例会を充実させましょう。クラブの特性に合った増員計画と、ドロップ防止で、「M」→「E」に傾倒しましょう。

ワイズメンズクラブは6年後の2022年に100周年を迎えます。この機に現在83クラブを100クラブに、1,530名を2,022名に増員したい。名付けて

“Y'S MEN'S WINDOWS 100(→2022)”

今期、もう1つの試みがあります。「メンバー」を増やすには、源流である「スポンサー」を増やすこと。「過去に3人以上のスポンサーとなったワイズ」を「EMCパートナー」として認定し、「EMCパートナー」を中心にEMCの輪を広げて戴きたいのです。「EMCパートナー」は「親善大使」です。

## 3月例会スピーカープロフィール

◆中 進一郎～ 昭和46年・立命館大卒◆赤賀 幸一～昭和47年・同志社大卒（どちらもクラブ活動が軽音学部カントリー部門）。  
※お二人は豊中育ちで同じ中学校時代からのお友達。高校時代フォークソングからスタートし大学でカントリーミュージックを志し定年退職後も趣味として現在に至る。

## 第2例会議事録(抄)

と き： 2016年2月24日(水) (敬称略)  
と ころ： ホテル竹園芦屋ラ・ルー 18:30～20:00  
出席者：上野、柏原、桑野、島田、福原、羽太(各ワイズ)、藤田連絡主事  
司会： 柏原佳子書記(会長代行)

## 今後の例会スピーカー予定

- ・4月20日(水)第1例会 盲導犬
- ・5月18日(水)第1例会 トリニダードトバゴ・スチールバンド演奏?
- ・6月15日(水)第1例会 カポエラ(ブラジル格闘技)or チター 交渉中五十嵐会長

## 議事報告

- ・羽太会計より1月会計報告&みどり基金の説明がなされた。ファンドの4事業を満額とする件は今年に限って了承
- ・2月第1例会報告は事務例会であり、上野次期会長から次期役員決定の報告があった
- ・7月第1例会は芦屋市民セターで開催
- ・クリスマス例会は12月23日(金・祝)で決定。
- ・2月22日総主事・会長懇談会があり五十嵐会長、上野次期会長出席。上野次期会長から詳細な報告があった(YMCA総主事からの議事録を芦屋MLで配信済み)

## その他

- ・次期の第2例会会場については今後の協議議案とする
- ・韓国旅行は6月6日(月)～8日(水)に決定(詳細は権・福原・柏原ワイズが打合せする)
- ・3月19日(土)西宮クラブ・メネット主催「震災復興支援コンサート」に協力して切符購入(9名)。  
また、芦屋クラブは9月のもりおかクラブ10周年記念例会に参加することを奨励。西宮クラブメネットの3月末の「もりおかクラブ」訪問の際に支援金委託は依頼しない
- ・島田恒ワイズより3月13日(日)ラポルテホールで芦屋キリスト連絡会主催の講演会が開催されるとのアピール

\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*

## 今後の予定

- ・六甲部第2回評議会  
3月5日(土)14:00～19:30 ホテル竹園芦屋
- ・次期会長・主査研修会  
3月12日(土)～13日(日)  
上野次期会長、五十嵐次期主査が参加
- ・4月2日(土)～3日(日)桜まつり  
出店番号14番は特設ステージ正面の好位置  
各自の役割、両日のシフト等、詳細打合せは3月第2例会でおこなう

## ◇2016年度年間聖句

世の中に発信していく言葉でありながらも、YMCA関係者にも響く言葉にしたい、という願いから、「平和な人には未来がある。」詩編37編37節が選ばれました。この節の前文には「無垢であろうと努め、まっすぐに見ようとせよ。」とあります。このことにつながる「平和な人には未来がある。」ということも合わせて大切にお覚えください。

## ◇YYフォーラム開催

2月6日に神戸栄光教会にて「ブランドの再生 ～神戸YMCAの宝探し～」をテーマに開催されました。ワイズ・ユースリーダー・職員が約90名集められ、それぞれの立場から感じるYMCAの宝について語り合う時間をもちました。それぞれが感じる様々な宝に気付き、共有して、今後はこの「宝」を磨き、光り輝くように進めていくことが、YMCAに関わるすべての人たちでできればと思います。



## ◇日本YMCA基本原則に学ぶ会開催

関西学院大学教授で神戸YMCAの国際委員でもある山本俊正さんをお招きし、日本YMCA基本原則を紐解きながら、歴史の中でYMCAがどのように歩んできたのかを学びました。その中で「加害の責任を記憶する」ということや「個の自律の重要性」の重要性に気づき、また、歴史的責任ということは歴史を学び、誠実に向き合うことから始まるということも改めて考える機会となりました。

## ◇未来を創るピースフォーラム開催

2月22日、ステイブ・リーパーさん(元広島平和文化センター理事長)とアーニー・ガンダーセンさん(原子力発電の技術専門家)をゲストに迎え、核と人類と平和をテーマに、神戸YMCA・コープこうべ・兵庫県ユニセフ協会主催「未来を創るピースフォーラム」を、コープこうべ生活文化センターで開催しました。会場は130名を超える人々が集まり、「平和」「原子力」「核」についての正しい知識を学ぶこと、自分の直感を信じて選び行動すること、行動する一人ひとりを敬い愛することの大切さを学びました。今回のフォーラムを主催した3団体は、これからも地域の人々とともに学び語り合う機会を設け、平和への歩みを続けることを約束しました。

## YMCA今後の予定

## ◇第32回タイピースワークキャンプ

期間： 3月21日(月)～30日(水)

編集後記： ◇5年間芦屋クラブの連絡主事をされた藤田良祐氏が新年度より異動、さくら祭り・留学生交流会・チャリティランでの多くの中高生やリーダーとの交わりが思い出されます。毎月末のYMCAニュースも有難うございました。西宮YMCAでの勤務、近くなので時々顔を見せてください。◇新たに柳原謙介氏が4月から連絡主事として来られます。どうぞよろしく。